



ボランティア便り

川崎田園都市病院 ボランティア活動機関紙

vol.220 2025/10/16

お問合せはこちらへ

医療法人 若葉会 川崎田園都市病院

〒215-0023 川崎市麻生区片平1782

Tel: 044-988-1118 Fax: 044-988-0009

URL: <http://kawadenhp.com> E-mail: volunteer@kawadenhp.com

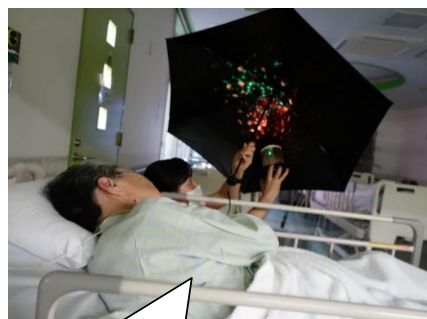
担当: レクリエーションワーカー 山口・町田



活動報告

★当院においてくださっているボランティアの皆様の活動や患者様のご様子を紹介します！

6月24日～ 7月の企画レクリエーション『星(七夕・海)』 ※内科病棟通常グループレク時間にて



黒い傘に“プラネタリウムプロジェクトライト”を当て、星空のような風景をお楽しみいただきました♪

7月は『星・海』をテーマに2週に亘りご案内をいたしました。『星』の回では、七夕にまつわるクイズや星の音色のする“ウインドチャイム”の楽器体験、折り紙ボランティアの福原春様にデザイン案をいただいた星のモチーフ飾りの作成を行いました。更に今年は寄贈いただいた星形の電球のイルミネーションと、“プラネタリウムプロジェクトライト”(写真)を用いて星空をイメージしたライトアップも実施。「キレイね！」とのご感想もたくさん集まりました。アコーディオンによる『星影の小径～星空のディスタンス』の演奏では、ノスタルジックな風情溢れる音色もあつてか、流行した頃とは世代の異なる方もおられましたが、どなた様も心地よさそうにお聴きになられていました。『海』の回では、沖縄や湘南等の海の画像鑑賞から始まり、唱歌『海』を歌ったり、海にまつわる豆知識をご紹介。海への回想が深まってきましたところで、更に波の音がする楽器“オーシャンドラム”を皆様に挑戦いただきました。「日本海だったから。荒々しい波だったわ。」「子供が小さかった頃、旅行で行ったの。熱海。」等、思い出を探りながら演奏されるご様子はどなたも温かな眼差しをされていました。最後は『さざなみドラム』という楽器を用いてレクワーカーが『うみ』『浜辺の歌』を演奏しますと、透明感のある音色と長い残響音が波のように空間を漂い、皆様うっとりとしたご表情をされていました。引き続き四季折々の風物詩を通し、皆様にとってお懐かしいご記憶を思い出していただけますよう、企画をして参ります。

7月26日(土) ロビーコンサート 出演:高瀬慶子・辻喜久栄(フルート・ピアノ)



爽やかな水色のドレスを身に纏った高瀬様と、気品溢れる濃紺のドレスをお召しの辻様がステージへお越しになりますと、夏らしくも美しいお二人のお姿に患者様方の期待も高まるご

ロビーコンサートでは感染対策のため引き続き3病棟ずつ患者様をご案内しております。今月は2階東病棟・4階西病棟・4階東病棟の患者様を対象に、高瀬慶子様(フルート)と辻喜久栄様(ピアノ、ハープ)による演奏をお楽しみいただきました。『愛の挨拶』『浜辺の歌』では柔らかく温かい音色に、「この曲は、知ってるわ。」と女性患者様も指を動かしたりリズムを取られている姿が印象的。『茶摘み』では、手遊び歌でも馴染み深いメロディーが技巧的なものへと変化する演奏に、目を閉じうっとりとして聴き入られる患者様も多くいらっしゃいました。二人の和やかなMCには、フツと笑みを浮かべる方も。曲やフルート、ハープ等の楽器をご紹介いただいた際は大変親しみやすいご説明に「なるほど。面白いわねえ。」と関心深そうに頷かれる女性患者様もいらっしゃいました。『いつも何度でも』ではハープ伴奏とフルートの美しい旋律が会場に響き渡り、『風の通り道』『風になりたい』では颯爽とした風が吹き抜けるような心地よいひとときとなりました。クラシックから歌謡曲、映画音楽まで、ジャンルにとらわれない豊かなご選曲に、女性患者様も「よかった。」と頷きに力を込めながらお話をくださいました。アンコール曲ではここまでの爽やかさから一転、パッション溢れる『情熱大陸』をご披露くださり、患者様方からも手拍子が沸き起こるなど、一体感に包まれました。

8月2日(土)・9日(土) 患者様お誕生会



8月も2回に亘りお誕生会を開催いたしました。2日の4階東病棟では9名の患者様をご参加。普段はベッドでお過ごしになることが多い男性患者様も、この日は車椅子にてお越しくださりお祝いのケーキを召し上がると笑顔を浮かべていらっしゃいました。女性患者様方からは「長生きしたい!」「(ご年齢を伺うと)歳は、ヒミツ!」等、笑い声の溢れる和やかな会となりました。3階中央病棟・3階西病棟合同の会では、レクワーカーによるサウンドブロックを用いた『故郷』の演奏にて、患者様やご家族様にも実際の楽器に触れていただきました。ご家族様が患者様のすぐ目元や耳元で音を鳴らされ、美しい音が響くと「キレイな音だよ、聴こえる?」等の優しい会話を交わされる姿が印象的でした。3階東病棟では、女性患者様にご家族様と手を取り見つめ合いながらお過ごしになられたり、病棟スタッフとの会話を楽しまれたりなど穏やかなひとときに。9日の2階東病棟ではお祝いのホワイトボードの装飾をじっと見つめられる患者様も多く、中にはその装飾を背景に記念写真撮影をされる方もいらっしゃいました。お誕生会の実施後にご入院されました、その月がお誕生日の患者様には、お部屋にて個別にお祝いをお伝えしております。今月は2名の患者様がおられ、それぞれの病棟スタッフより『ハッピーバースデー』の歌をお届けしました。どなたも少し照れたように笑顔をお見せくださり、記念写真撮影にも柔らかなご表情で応じてくださいました。

8月・9月の企画レクリエーション『祭』 ※内科病棟通常グループレク時間にて



8・9月は『祭』をテーマに企画レクリエーションを実施しました。皆様に『お祭りと言えば?』と伺いますと、お神輿や盆踊り、縁日の屋台の話題等様々なご意見が挙がります。そんな中、まずは日本の三大祭はどんなものだろうか、と写真にてご紹介をいたしました。「祇園祭ね! 京都は何度か行ったことあるわ!」「神田祭、昔東京の下町に住んでたから、見たことあるわよ」「天神祭は、昔大阪に住んでたこともあるから知ってるわ。」等、皆様の思い出の話題で会話も盛り上がりました。続いて盆踊りに合わせて楽器演奏に挑戦いただきました。お馴染みの『東京音頭』『炭坑節』や唱歌『村祭り』に合わせて“鳴子”“小太鼓”“鈴”を鳴らしていただくと、歌や踊りも交えてくださる方、レクワーカーが叩いた太鼓に指先で触れて音や振動を目を閉じながらも感じられた方等、自由にお楽しみいただきました。DVD映像による『山形花笠まつり』『東京厳正寺水止祭』等ご当地のお祭りの映像には「こんなお祭りもあるんだね。」と皆様関心深いご表情に。折り紙ボランティアの福原春様より寄贈いただいた“金魚”のモチーフを使用した金魚釣りのミニゲームでは、指先に力を込めて糸を引き、釣りあげた金魚を見ると思わずといったような笑顔もお見せくださいました。お祭りにまつわる豆知識のクイズや、レクワーカーによるアコーディオン演奏『お祭りマンボ』もお楽しみいただきました。残暑まで厳しさを感じた今年の夏でしたが、暑さを吹き飛ばすような賑やかな日本の『祭』の雰囲気や、目や耳、指先で感じていただきました。

小学生のボランティア活動者にご協力いただきました♪



7月28日と8月18日は、当院職員のお子様で、小学5年生の女の子2名に当院でのレクリエーション活動にご協力をいただきました。初回ではまず実際の活動を見学し、患者様方の前でご挨拶をしていただきました。御一方ずつのご体調に合わせ、緊張されながらも大きな声でお話される様子を患者様方にもっこり。更にこの日は、お二人が練習中というけん玉もご披露くださいました。二回目では実際にお二人にも患者様方のサポートをお手伝いいただきながら、ご自宅で作ってくださった『コスモス』の花のモチーフを使用した共同制作のイベントを行いました。ボンドを付けたパーツを患者様へお渡ししたり、時には賑やかにお喋りをしたりと、お二人の優しく元気な様子に、患者様方も終始楽し気なご表情。「若いとこれから色々あるかもしれないけど、頑張ってるね!」と激励のお言葉をかけられる患者様もおられ、大変温かなひとときとなりました。内科病棟ではイベントに参加された以外の皆様にも、お二人から寄贈いただいたたくさんのモチーフを使用し、個別レクにて制作活動をご案内いたしました。完成した作品は2・3階各病棟のデイルームに掲示しております♪



写真左:3階中央病棟
写真右:2階東病棟

『折り紙の会』の皆様によるご活動と作品のご紹介

●作品『秋の花束』を寄贈いただきました♪

当院の内科病棟ではご入院中の患者様に『カレンダー作り』という制作活動のレクリエーションを行っています（現在は隔月開催）。その際、作品制作にて使用するモチーフについては『（一財）川崎市母子寡婦福祉協議会つくし会 折り紙の会』の皆様にご協力をいただいております。この度、活動に使用するパーツと別に折り紙の会の皆様より『秋の花束』の作品を寄贈いただきました。精巧な花のデザインは圧巻！当院に爽やかな秋の風が吹き込まれました♪

※こちらの作品は9月一杯まで、1階薬局前の掲示板にてご紹介させていただきます。

●2025年カレンダー作り テーマは『スポーツ』

今年は様々なスポーツで日本選手が大活躍！9月には世界陸上が東京で開催され、大変賑わいました。当院でも患者様方とスポーツを盛り上げていきたい！と、2025年度のテーマは“スポーツ”にいたしました。5月・6月には『相撲』（写真：下左）7月・8月は『サーフィン』（写真：下中央）9月・10月は『運動会』とし、折り紙の会の皆様より素敵なモチーフをご提供いただきました。「かわいいわね！」と、思わずといったご様子で手を伸ばしてくださる方も多くいらっしゃいます。11月・12月は『天高く馬肥ゆる秋』と初老ジャパンの活躍を祝し、『馬術』をテーマに制作をする予定です。



寄贈作品 『秋の花束』



（一財）川崎市母子寡婦福祉協議会つくし会 折り紙の会

活動場所：川崎市中原区今井上町1番34号和田ビル2階 川崎市母子・父子福祉センターサン・ライヴ会議室

活動日時：毎月第3水曜日 午後1時～4時30分

ホームページ：<https://www.boshikai-kawasaki.or.jp/index.htm>

これからの活動予定

10月18日（土）	14:00～	ロビーコンサート ご出演：ヴォーカルアンサンブル‘丘’（女声合唱）
11月1日（土）	14:00～	ロビーコンサート ご出演：ララ・ミルフィーユ（ソプラノ・ピアノ）
11月22日（土）・29日（土）	病棟毎に	患者様お誕生会
12月6日（土）・13日（土）	病棟毎に	患者様お誕生会

★お誕生会・各イベント
⇒開始時間・会場等、詳しくは院内掲示を御覧ください。

感染予防対策のため、予定を急遽
変更させていただく可能性があります。

9月6日（土）・13日（土） 患者様お誕生会



9月になり当院周辺でもトンボが姿を見せ始め、少しずつ夏から秋への移り変わりをを感じるようになりました。6日の3階東病棟では、ある女性患者様がお誕生会を以前からとても楽しみにしてくださっていました。会場に到着され、まずはお祝いのウェルカムボードをご覧になると「すごいわね！」と何度も頷かれ、病棟師長より「おめでとうございます！」とお伝えすると「嬉しいわ。」と感激され目に涙を浮かべられていました。最後まで楽しそうなご様子に、スタッフ一同、皆様の改めて大切な記念日をお祝いさせていただけることを嬉しく感じるひとときでした。4階西病棟では、目を閉じて過ごしていた女性患者様が、スタッフより「お肌がキレイですね！」とお声掛けするとパッと目を開けてくださり笑顔に。ご年齢を重ねても変わらず“美”への関心を大切にされるお姿を見せてくださいました。13日の3階中央病棟では、音楽のコーナーにて『少年時代』をおかけすると、ある男性患者様が「懐かしいです。」と柔らかなご表情をされ、昔まさしくこの時期によくお聴きになっていたこと等思い出をお話くださいました。3階西病棟では沢山の患者様やご家族様がお集まりになり賑やかに開催。終了後はそのまま会場にてお祝いのデザートをお召し上がりになる方も。ご家族様とのお喋りと共にケーキを楽しんでいた女性患者様は、どこかカフェでティータイムをするような優雅な雰囲気があり、最後は「美味しかったわ。ありがとう」と笑顔でご感想もくださいました。この度、2階東病棟では、感染対策のため予定日を延期させていただき、後日病棟スタッフよりお一方ずつお祝いをお伝えしながら記念のお写真を撮影いたしました。

10月4日（土）・11日（土） 患者様お誕生会



10月のお誕生会も2日間に亘り開催。4日の4階東病棟では、普段は口数の少ない女性患者様も、スタッフからのお祝いをお伝えすると「ありがとう」と笑顔に。別の女性患者様は、口紅を塗りお化粧をされ華やかなお姿でご出席。一緒に参加されたご家族様も「お化粧したんだね！」と嬉しそうなご様子されるなど、大変アットホームなひと時となりました。3階中央病棟でも多くのご家族様が参加され、背や肩をさすりながら、御耳元へ顔を寄せ「おめでとう。」とお伝えされるご様子に、ご家族やご夫婦の深い愛情を感じるひと時でした。3階東病棟では今年103歳になられる女性患者様もご出席くださり、病棟師長よりご長寿のお祝い状を贈呈しますと他の患者様やご家族様からも拍手が沸き起こりました。11日の3階西病棟では、レクワーカーよりサウンドブロックという楽器を用いたお祝いの音楽『ふるさと』を演奏いたしました。患者様やご家族様にも楽器に触れ音を鳴らしていただき、鉄琴の一種であるこの楽器のきらきらとした豊かな音に、患者様も音色が響く度にそちらの方をご覧になられ関心を寄せてくださいました。2階東病棟では、歌がお好きな女性患者様からのリクエストに合わせ、レクワーカーがピアノにて『青い山脈～リンゴの唄～高原列車は行く』をメドレーで演奏。歌詞をご覧にならずともお歌いくださり、「全部、よく覚えてるわ。懐かしい。」と柔らかなご表情をされていました。

ボランティア担当より

当院では院外にて活動可能なボランティア活動を中心に、様々なご協力をいただいております。例えば、自作の折り紙・絵画・写真・編み物等作品のご提供や、ご自身では鑑賞されなくなった書籍・CD・DVD、中にはクリスマスのイルミネーション等の寄贈等…。中にはご自身で育てられた季節の草花を届けてくださった方もいらっしゃいます。そういったご協力をくださる方の多くが『大切にしていたから、売ったりするんじゃなくて、喜んでくれる人に貰っていただけるとこちらも嬉しい。』という温かなお言葉を添えてくださいます。そしてそのお心が届くのか、患者様へご紹介しますと大変好評をいただいております。（なかなかご紹介ができないのですが、寄贈くださった物の中には、毎年季節のイベントで定番として活躍しているものや、日々のレクリエーションの度に使用しているものも多くございます。この場をお借りし、改めて感謝を申し上げます。）

さて、ボランティアコーディネーターとして活動者の皆様とお話をしております中、何のために活動をするのかについて、お話をさせていただくことがあります。先述した『喜んでくれる人がいたら嬉しい』といった”目に見えない利益”という部分について、社会福祉法人宇治市社会福祉協議会の土田恭仁子氏は『（アメリカ出身の知り合いが、京都で行われた）時代祭り関わったことを「It was the benefit.」と語っていました。benefitは「利益」ぐらいの訳しか浮かばなかったけれど、profitは使わなかったなと思い、検索サイトで調べてみました。benefitは「（人・社会の幸福につながる）利益、ためになること」。profitは「金銭的な儲け」を目指す事。地蔵盆や祭りは、人や社会の幸福に繋がって、「良い効果が生まれ、ためになる」。慣れないことに、戸惑いつつも、地域文化を知ることやその中で培われるつながりは、人や社会の幸福につながっているということでしょう。』（日本ボランティアコーディネーター協会（JVCA）2025年8月30日発行『Co☆Co☆Net』P1より引用）と述べています。当院での活動において、私達はまず関わる全ての皆様にとっての『安全』を第一に検討し、努めております。その上で、ボランティアの皆様にとって「どんな利益があるのか」については、その時の環境や状況等…不変を保つことは難しく、しかしながらご経験や想い等も合わせながらより柔軟に変化していくものではないかと考えております。だからこそ、改めてその時における最大のbenefitを、活動される皆様と共に模索できる存在でありたい、と感じております。皆様の温かな豊かなご経験や情熱をより良い形でお届けできますよう、今後とも努めてまいりますので、引き続きお力添えをいただけますと幸いです。（山口）